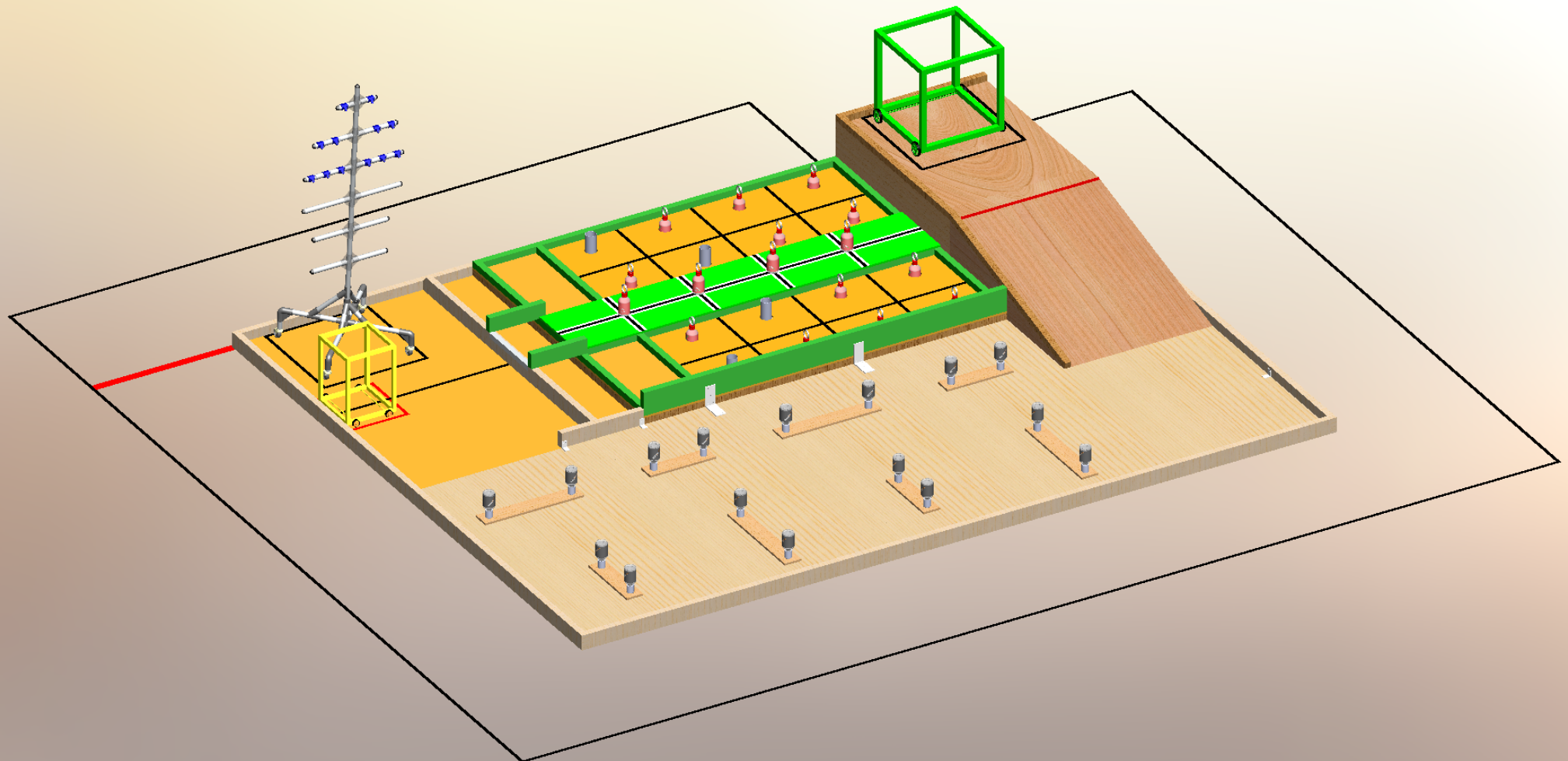


コース1面（Aコース）イメージ図

各アイテム、スギッチ、んだッチ、竿燈を配置【競技開始前状態】

p-1

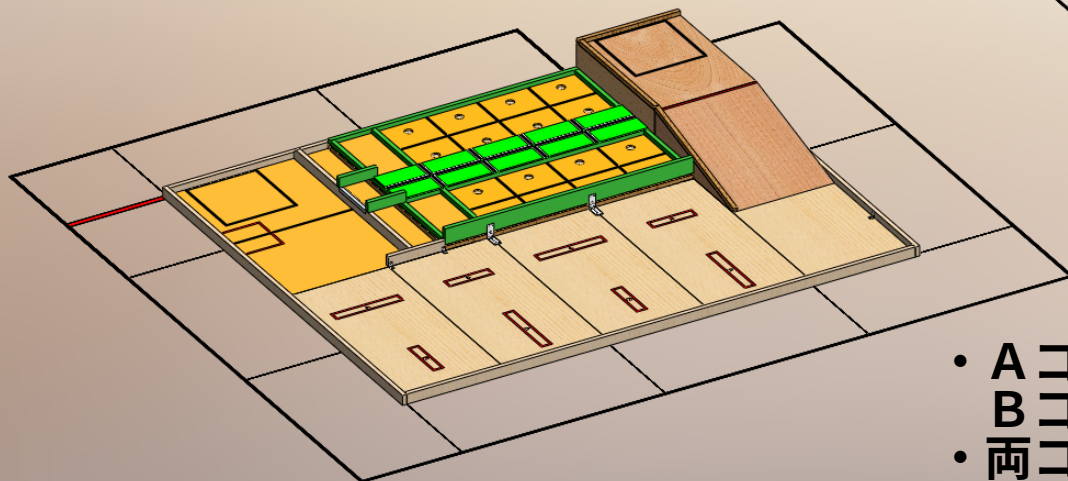


コース2面イメージ図

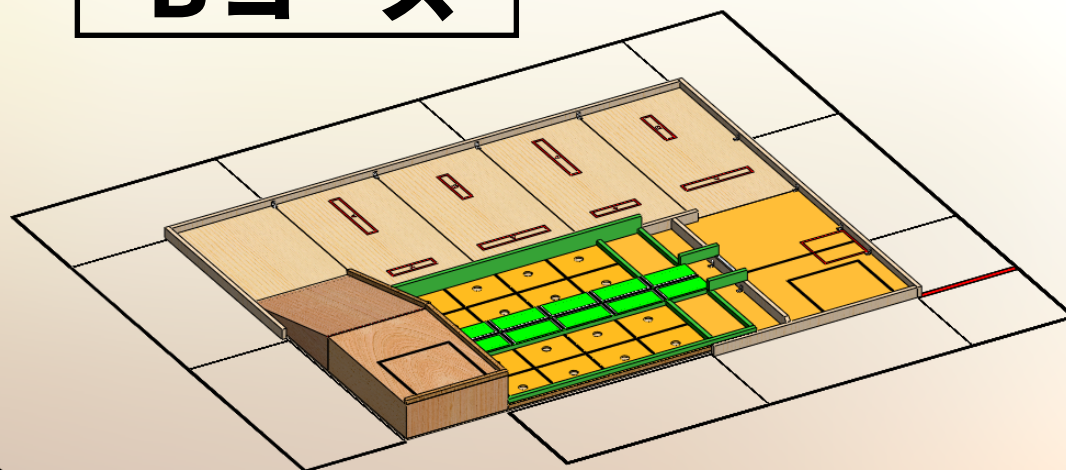
(左 [A] 右 [B] アイテム無し)

p - 2

Aコース



Bコース



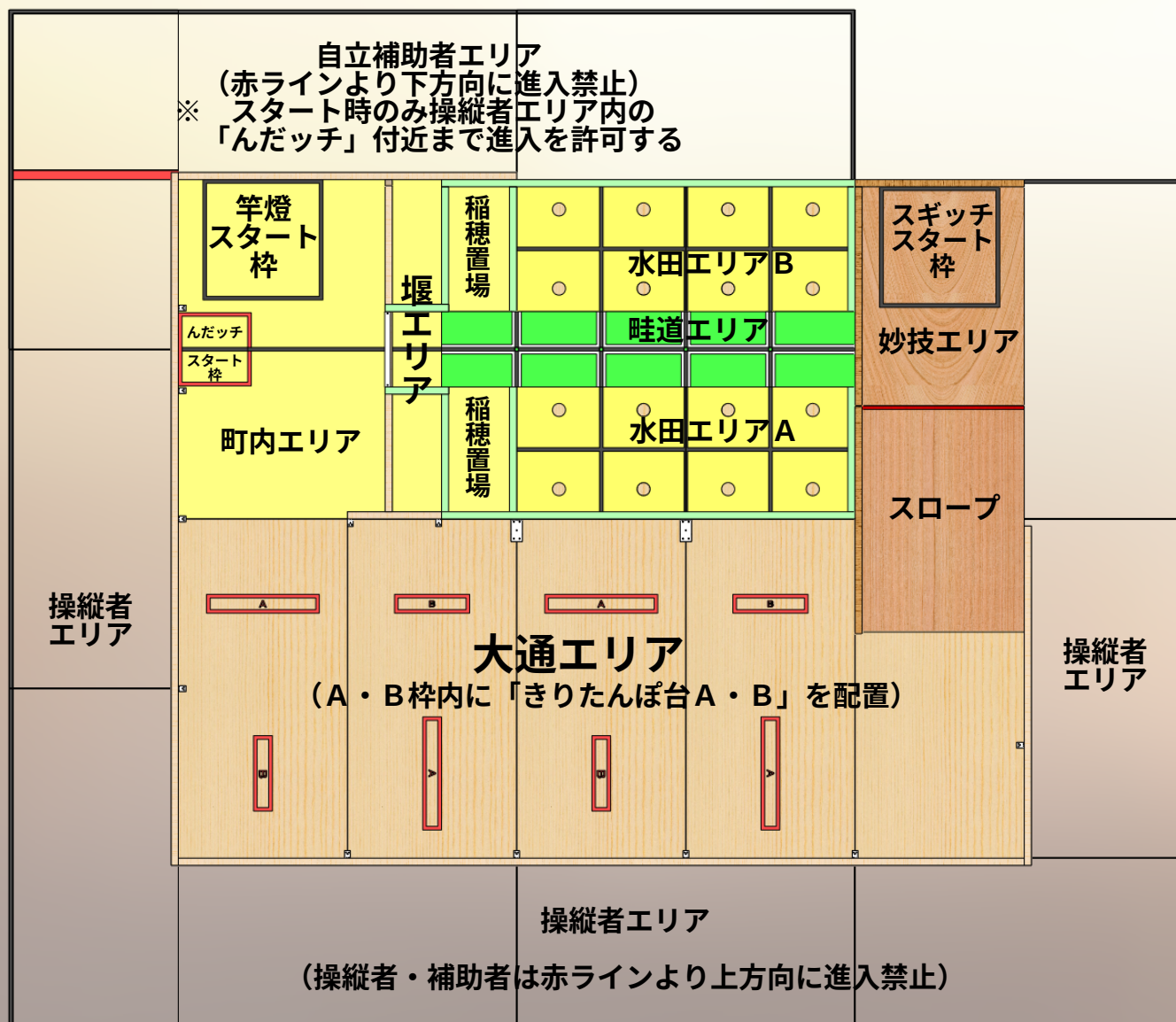
- ・ Aコースを180°回転させたものをBコースとする。
- ・ 両コースの間隔を1800mmとする。

※ 操縦者エリア内の境界ラインは、実際のコース上にはありません。
また、コース上の赤ラインはイメージ表示のため、実際の幅より太く表示しています。

コース平面イメージ図 (Aコース各エリア名入り)

p - 3

- ・「スギッチエリア」……妙技エリア・スロープ・大通エリア・町内エリア
- ・「んだッチエリア」……町内エリア(スタート時のみ)・堰エリア・畦道エリア・水田エリアA・稲穂置場



コース平面寸法図 (Aコース 床面)

p - 4

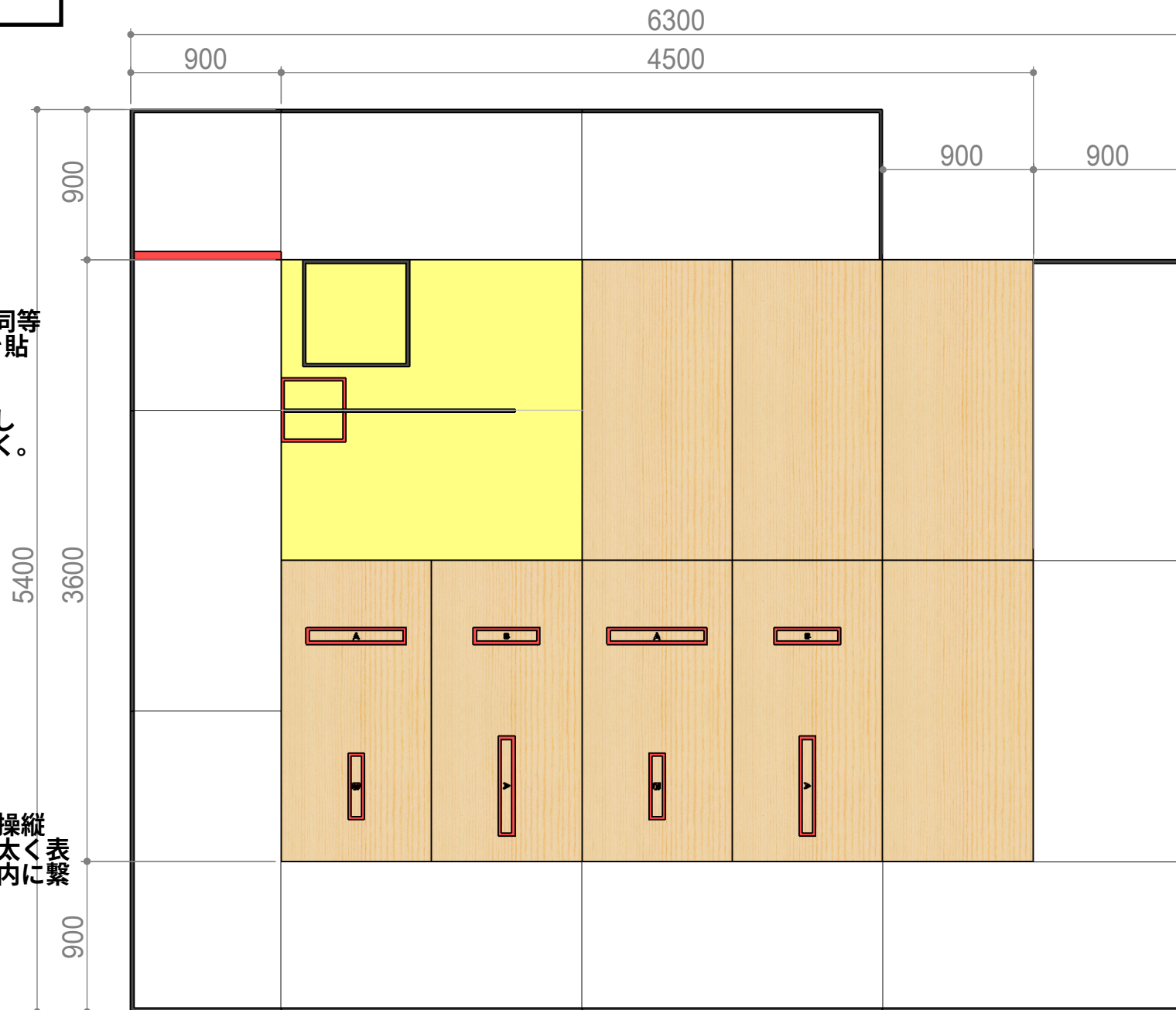
1 : J A S 規格合板 (コンパネ)
1,800×900×t12mm 8枚使用

2 : ウルタコート[®] 初塗装合板
(パネコート黄色)
1,800×900×t12mm 2枚使用

3 : 操縦者エリアは図面イメージと同等
に幅900mmの内側にエリアテープを貼
る。

※ 1、2の各合板の底面に土台とし
て21mm×45mmの杉材を格子状に敷く。
(詳細は別製作図p-7参照)

※ 図面を分かりやすくするため、操縦
者エリア内の赤テープを実寸より太く表
示している。また、操縦者エリア内に繋
ぎ目は無い。



コース枠設置寸法 (Aコース)

p - 5

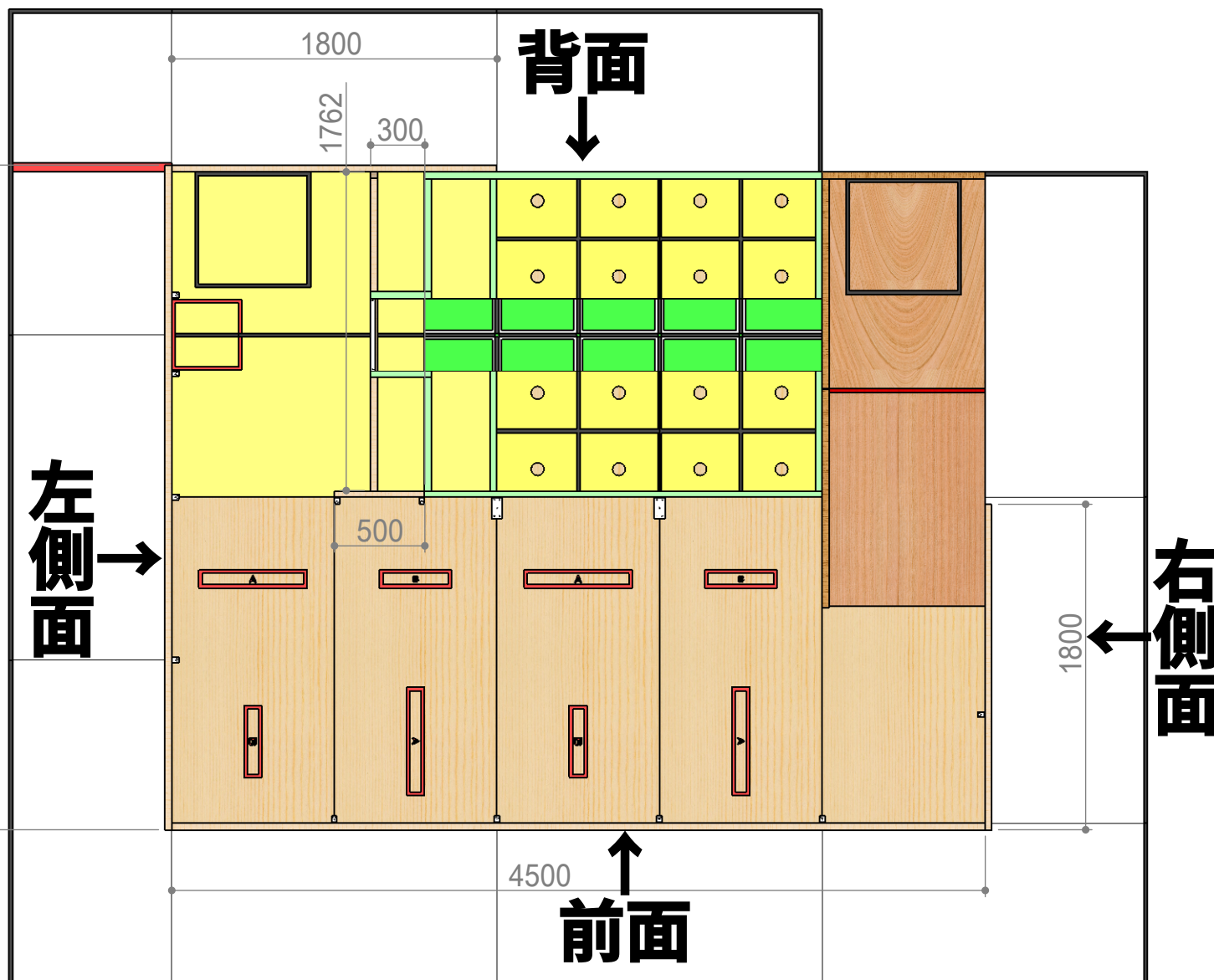
コース枠は、ツーバイフォー材を使用し
コース全体の外側に設置する。

※ 前面、左側面は全てに、右側面、背面は
一部スロープ及び自立エリアに接続する。
枠中間部の安定性、及び底面の繋ぎ目の
段差を少なくするため、L型金具を枠の
コース側各部に取り付ける。
(寸法は別図p-6参照)

また、堰エリア左側 (Aコース) の
コース上に300mmの間隔で同ツーバイ
フォー材 (L=1762mm) を立てる。

上記、堰用ツーバイフォー材固定用に
L=500mmの同材を自立エリア、ツーバイ
シックスの延長上に立てる。

※ 図面を分かりやすくするため、操縦者
エリア内の赤テープを実寸より太く表示
している。また、操縦者エリア内に繋ぎ
目は無い。



コース枠固定金具 設置寸法

コース枠固定金具
(TORASSCO TUWA-40) 13個使用する。

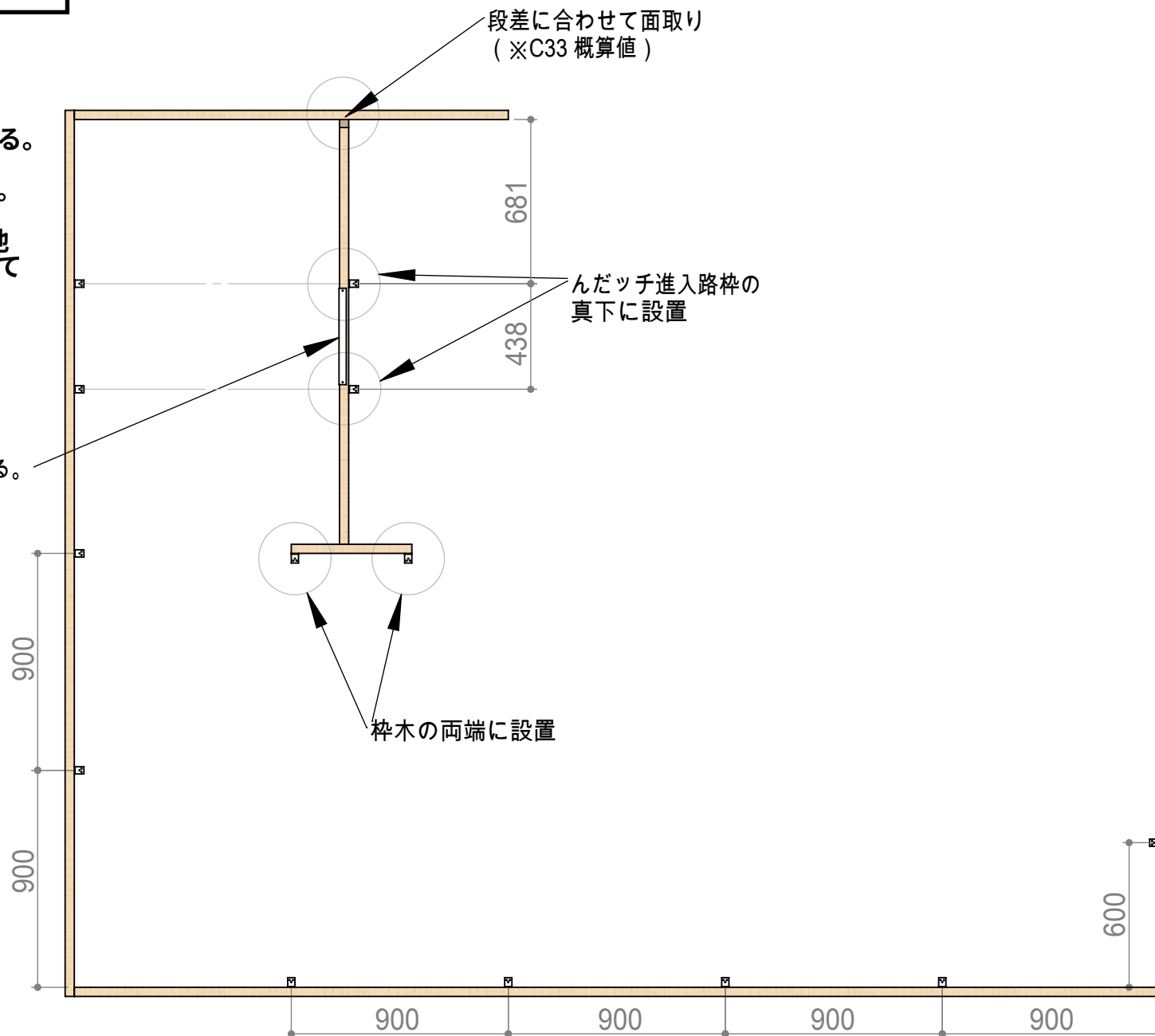
取付位置寸法は図面のとおりとする。

(TORASSCO TUWA-40)金具は、この他に「んだッチ」進入路枠固定用として下部に4個使用する。

堰枠保護用アングル
A6063

(30×30×t2×L400mm)

※ 上面・スタート側に固定する。



コース床下枠 設置寸法

21×45mm杉材を使用

外枠3600×4500mmに枠組をし、内部の格子部分はコンパネの繋ぎ目が枠中央になるように組み立てる。

※ 木材寸法に若干のズレ、又は歪みがあるため、図面寸法値は概算値である。

